

エ 認めること。

オ 要求し励ますこと。

(1) 事前指導でのかかわり

① 学級担任との連携

学級担任と養護教諭の役割分担を話し合いによって次のようにした。

【かかわりの場と方法】

	学級担任	養護教諭
事前	指導案作成	資料・情報の提供
	事前調査・アンケート調査	
	実施回数	素案作成・内容説明・集計
前	生徒の実態に基づいての話し合い（指導法・役割について）	
	事前の活動への支援	事前の活動計画づくり 調べ学習への支援
授業	生徒中心の進め方を支援	必要事項・知識等の確認
	活動に対する評価	補足説明 専門的立場からの評価
事後	活動や生徒の様子などについての話し合い	
	アンケートや感想・知識の確認（実施回収）	アンケート・事後調査紙の作成 集計 結果に基づき再度資料提供 個別指導 保健室資料の閲覧と情報の公開 相談活動

事前にアンケート調査を実施し、その結果をエイズを学習していく上で生徒がぶつかりそうな問題と、もっと知りたいと考えていることなどにまとめた。それをもとに、学級担任と養護教諭がそれぞれの立場を生かして生徒とかかわっていけるよう話し合うとともに、生徒が自ら班を編成していくときの資料として活用した。

事前指導の流れと指導援助の留意点については、次のように確認し合った。

【事前指導と生徒の活動】

月日	活動の場	活動の主体	活動の内容	指導・援助の留意点
7・10	帰りの会	全 員	エイズに関するアンケートに答える。	生徒の実態から問題を確認し、内容について分類し選択しやすいようにしておく。
7・17	帰りの会	全 員	調べる内容を知る。	活動しやすい項目を選択できるよう考えさせる。
9・4 }	帰りの会 放 課 後	全 員 各 班 毎	自分の調べたい内容の班を選ぶ。活動計画を作成する。調べ学習を開始する。	生徒が活動しやすい内容を選択させる。各班の活動がスムーズにできるよう見通しを持たせる。
9・11	昼 休 み 放 課 後	運営委員会	一単位時間の活動内容案を作成する。調べ学習の完了。発表の方法について話し合う。	一人一人の生徒が活動できる場を設定させる。
9・16		各 班 毎		発表の内容を工夫して発表できるよう助言する。
9・11 }	放課後	各班毎	発表の資料を作る。	わかりやすく、工夫の跡が見えるものにさせる。
9・19				
9・18	帰りの会	全 員	本時の活動計画を確認する。	活動内容に共通意識を持たせる。
9・19	放課後	各班毎 運営委員会	本時の係を確認する。 本時の流れを確認する。	内容と係の活動が一致していることを確認する。 生徒が意欲的に活動できるようにさせる。

② 生徒とのかかわり

ア 活動計画作成への支援

学級活動では、生徒の作成する活動計画を重視している。そこで養護教諭は専門的立場からエイズについての資料や、生徒の興味・関心に応えられる資料を、生徒と学級担任に提示できるよう準備し、活動計画作成の支援をした。

養護教諭は、見通しをつけることができない生徒に「エイズは感染から発病まで段階があって症状が違うけど、どこに焦点を絞るか」などの投げかけや「こんな資料もあるけど」と資料や情報を提示した。発表の仕方やまとめの方向性については学級担任が中心にかかわったが、エイズに関することについては随時助言し積極的に話し合いに参加した。以上のような支援から、生徒一人一人が何を調べるのかが明らかになり活動の見通しが立てられた。

次はその一例である。